

## 5月27日(水) 柴又帝釈天 から 和船・乗船 そして、深川界隈を歩く旅

新百合ヶ丘駅 集合8:30 36分発—千代田線綾瀬・金町経由、柴又 10:09 着帝釈天、記念館(矢切の渡し遠望)——錦糸町 12:25 着—(バス)——和船・親水公園 13:20—(門前仲町)木場——南千住—ウオーキング——都電・三ノ輪駅——(王子)—庚申塚駅(甘味所)——地蔵通り——巢鴨駅——新百合ヶ丘 21:00 新百合ヶ丘・午後9時帰着！——歩行18000歩、移動距離 50km。朝から12時間余り歩いてきたのは当クラブ最長か！とにかく小田急電車・地下鉄・私鉄・バス・和船・地下鉄・都電・山手・小田急まで めまぐるしく歩いて移動乗り換えました！4名参加。

元々 この地域 広くは深川と呼ばれるのは 徳川家康が江戸城に住み 荒川を利根川に分流させて 周辺地域の干拓造成に力を入れたころ、隅田川・中洲の最初の開拓者・深川八郎右衛門の名を取ってであり、木場という材木卸売り場を造り、財を成したのが「紀伊國屋文左衛門」(紀文！)奈良屋茂兵衛(奈良茂)という歴史上の人物も居ます。——江戸時代以来 何度も火災・木造で建て替えられて居ますが、最初にお参りした現在の柴又帝釈天も建替え 80 年余り、その法華経文の周囲全面木彫が素晴らしいです！何人もの工匠の連作は手作りの妙を目の前に見られて良かったです。その奥の庭園も池に臨んで落ち着いた雰囲気 しばし歓談も和やかでした、——毘沙門天も祀られて日蓮宗と言うことです。——寅さん記念館までは行けず急遽 京成金町線で1駅・終点青砥から特急押上経由錦糸町、そしてバスに飛び乗り、千田で降りて目的の和船乗り場・横十間川親水公園！受付に川崎麻生区から4名と記して近くの木陰で持参の昼食をみんなで広げる。目の前には川沿いの和船が行き交い(スナッフのとおり)風情があります。気ままな昼休みをしてからいざ乗船！ライフジャケットを着けて親しい船頭さんと会話しながら水深2mの水路を行って来いで10分あまり、小鳥さえずる空の下、久々に童心に帰って楽しみました。

さて下船してからは堀川沿いを三々五々ウオーキング！小名木川は江戸時代の塩産地とか、塩分もありクラゲがゆらゆら、小魚に鴨の仲間たち、経路の埴輪公園で一休みして はっと気付いた妙な鳥2羽！五位鷺(ごいさぎ)らしき頭に白輪！ 持参した図鑑で確かめ全員驚く。路上に出るもさらに堀川沿いを行くと頭上高く吊り橋の大支柱！ Yさんこの地を思い出し、広大な木場公園で休憩・甘い物で養水分を補充する(とにかく暑い)。ヨモヤマ話をしてから近い方の木場駅へ急ぐ(門前仲町には六万坪を造成寄進した長盛上人が 幕府から許された富岡八幡宮があり夏祭りが有名です、と)。急ぎ三ノ輪まで、南千住駅前 で 松尾芭蕉像を横目に 昔風のアーチ商店街を突き抜けて、やっと都電に乗車して、各駅沿線のバラ風景を目の保養にして巢鴨・庚申塚で降車して甘味処が6時前の閉店で土産に買って地蔵通りを真っ直ぐ歩き とげぬき地蔵(高岩寺)でお参りして やっと見つけて入った店のいち押し名物・アジフライ定食を全員夕飯として頂いて満足！見れば仕事帰りは大勢で大海老、近くの主婦も居て賑わっているのに景気の回復！を実感する。当店・巢鴨ときわ食堂、サッパリアジの秘訣はソースに同量のお酢、美味かったです。飲みたい気分を抑えて涼しげに駅まえへ、コーヒーを飲みながら一日をふりかえり、山手線経由で帰宅しました。

庶民文化の歴史を一巡りした1日でした。

(白浜 記)